

# 利根川水系連合・総合水防演習《参加者からの声》

## 栃木県県土整備部



(写真左から)  
真岡土木事務所 整備第二課 技師 波多 芳樹 様  
鹿沼土木事務所 整備第二課 主任 小野 敬之 様  
安足土木事務所 整備第二課 技師 近藤 勝明 様

## 足利市消防団 第15分団



(写真左から)  
副分団長 柳田 伸樹 様  
班 長 石原 進様

## 足利市在住 主婦



(写真左から)  
菊地 恵子 様、寺山 厚子 様、菊地 千春 様、  
飯塚 秀子 様、新井 淑子 様

災害時における県土整備部の円滑な活動実施と、栃木県建設業協会との協力体制の一層の充実を図るため、防災・水防・情報伝達訓練など、毎年、各土木事務所と建設業協会各支部で訓練を行っています。

建設業は、地域インフラの整備、維持管理等を支えるとともに、災害時には最前線で安全・安心の確保を担う「地域の守り手」としての重要な役割を果たしていると感じます。

今後とも県民生活の安全・安心を確保するよう、各種訓練等、緊密な連携を行い続けていきたいと思ひます。



私たち水防団（消防団）は地域密着という点で即時対応力、要員動員力という特徴を有し地域防災力の中核を担っています。

今回、栃木県建設業協会足利支部員等と一緒に訓練を実施してみて、重機を用いての災害対応や復旧作業というのが、いかに短時間で力強い活動が可能になるのかを身をもって体験させてもらいました。

マンパワーだけでは時間と体力を要する作業を重機が行い、重機では難しい悪環境下での細かい作業を水防団員が行った今回の訓練では、水防団と建設業協会のそれぞれの特徴を生かすことができたのではないかと思います。

今後は、消防や自衛隊といった公共機関と建設業をはじめとする民間団体が、それぞれの意見を出し合ってお互いを高めあうとともに、訓練や演習を通じてさらなる緊密な連絡体制を構築し、連携を取りながら、より多くの県民、市民の安全・安心に寄与していきたいと考えております。

今日の演習は、足利市赤十字奉仕団の活動として参加しました。

建設業と言えば建物をつくるイメージでしたが、災害が発生したときに、建設会社の重機で土砂やガレキの除去をした後、警察や消防、自衛隊が救助・救援活動を行っている姿をテレビで見たときに、真っ先に現場にかけつけて活動する建設業が一番重要な産業だと思いました。また、雪が降った時の除雪作業は、県や市役所の職員が対応してくれていると思っていましたが、地域に精通した建設業の方々が対応してくれていることを初めて知りました。

私たちが何不自由なく車で道路を走り、川に架かる橋を渡りスーパーに買い物に出かけるなど、日常生活に欠かせない基盤づくりをしていただいている建設業界で働く皆様が地域住民の安全で安心な街づくりをしていただきとても感謝しています。

## トピックス



### ■大型土のう製作機の無償貸与

栃木県建設業協会から九州北部豪雨被災地へ貸与した大型土のう製作機により効率よく大型土のうが作成され、被災現場の早期復旧に貢献しました。

また、西日本豪雨では、国土交通省中国地方整備局より応援依頼があり、応急復旧活動をいたしました。なお、「大型土のう製作機」は、栃木県建設業協会 全支部へすでに配備完了しています。

### ■大型土のう 1,000袋を寄付

栃木県建設業協会 那須支部は、平成28年4月に発生した「熊本地震」への復旧を支援するため、大型土のう1,000袋を寄付しました。

那須支部では、以前に熊本県 人吉支部との意見交換会を通じ交流を深めており、献身的に地域の復旧作業にあたり、地域住民の安全確保に務める同支部の奮闘を聞きつけ被災直後に支援したものです。

